

第12期 人文学・社会科学特別委員会の今後の進め方について

1. これまでの審議経過等

第12期の人文学・社会科学特別委員会（以下「人社委員会」という。）では、第11期までの議論や、昨今の人文学・社会科学を取り巻く状況、第6期科学技術・イノベーション基本計画の記載内容等を踏まえ、主な論点として、

- 現代社会の要請を踏まえた人文学・社会科学を軸とした学術知の共創
（共創による課題設定型・プロジェクト型共同研究の更なる推進方策の検討）
- 人文学・社会科学の研究データの共有・利活用のための基盤整備及びデータ
駆動型研究の推進
- 人文学・社会科学の研究成果の可視化及び国際発信力の強化

を掲げ、調査・審議を行っているところ。第22回人社委員会（令和6年3月5日開催）においては「これまでの主な意見を踏まえた論点整理」を議題にあげ、審議を行っている。

2. 今後の進め方

今後の人社委員会においては、上記の論点整理をもとに更に議論を深めるとともに、必要に応じてその他の論点も追加し、夏頃に中間まとめを作成、年度末にかけて第12期の最終的な議論のまとめを作成・公表（学術分科会にも報告）する予定。

<当面のスケジュール（イメージ）>

○第23回 令和6年6月6日（木）

- ・「これまでの主な意見を踏まえた論点整理」に対し追加意見のあった前回の人社委員会の議論を踏まえ、中間まとめ（案）を事務局より提示し、追加すべき論点の抽出も含め引き続き議論。

○第24回 令和6年8月頃

- ・人文学・社会科学振興関連事業（JSPS 事業、人文機構の取組、文科省委託事業等）の進捗の把握（ヒアリング実施等）
- ・中間まとめの作成

○秋～冬頃（1～2回）

- ・追加すべき論点も含め、第12期の最終的な議論のまとめに向けた審議

○冬～2月

- ・第12期の審議のまとめの作成